

学校創立70年を迎えて

学校長 梶原勝由

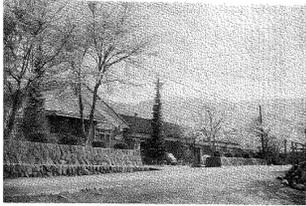
本校の歴史を創立50周年誌「蛍雪」で紐解いてみた。すると、意外な発見が多々あった。

1947(昭和22)年4月10日、新学制により谷村中学校として開校。とは云つても谷村小学校を借用しての開校。教師・生徒は、校舎が完成するまで日夜整地作業だったようだ。その甲斐があつて、二年四ヶ月を経て本館完成(1949(昭和24)年6月29日)。この完成落成日を学校創立記念日として制定。

当時の写真を見ると、木造建築の平屋建てで、生徒数は1000人を超え、修学旅行先は大島・伊東方面となつている。そして、同年11月8日校歌制定。

春風吹けば住吉の 土手の桜も蕾もち
霜と氷の冬を経て 柳も芽ぐむうららかに
ここにそびゆる学舎ぞ 我等が谷村中学校
夏暑からず秋早き 桂の川の落ち鮎の
行方は知らず 雲霧や
晴間に高き雪の富士 それを鏡と仰ぐなる
無情迅速人の世の 我等が谷村中学校
流転の渦の中にして 動かぬ山の立ち姿
学ぶはかたきことながら 我等が谷村中学校
そこに真如の影をみむ

1965(昭和40)年4月1日、校名を都留第一中学校と改称。そのときの職員数33名、学級数23、生徒数992名。翌年9月1日には学区変更により都留第二中学校に転学する生徒が141名。そして、1967(昭和42)年3月15日、現在の校歌制定。

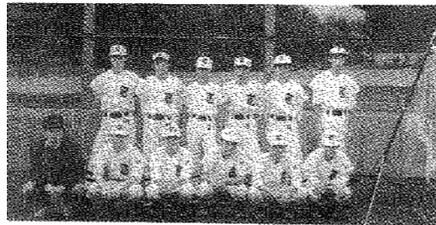


昭和40年度の校舎

われらの心に 清らかな桂の流れ 古いゆかりよびかける あかるく手をとり合い 学ぶわれらにきょうも 古いゆかりよびかける よびかける

われら仰ぎみる 大なる富岳の姿
風と雲がよびかける 楽しく力強く
学ぶわれらにきょうも
風と雲がよびかける よびかける
われらほこらかに 知るよ伝統のかがやき
希望かかげよびかける はばたけおのが個性
学ぶわれらにきょうも
希望かかげよびかける よびかける

この70年の間に、卒業生は13,710名。その卒業生は数々の実績を残している。県英語劇大会優勝、県ダンスコンクール優勝、全国少年野球大会優勝、NHK合唱コンクール優勝、河口湖一周駅伝大会準優勝、県中学校テニス大会優勝、県中学校剣道大会優勝、県総合体育大会体操・剣道大会優勝、県新人相撲テニス大会優勝、県新人サッカー大会優勝など(年代順に記載)



野球部関東大会出場(454)

今年度、都留一中生223名は1970(昭和45)年9月29日に完成した校舎で勉学に勤しんでいる。また、過去の実績を誇り高く胸にし、生徒会活動や部活動などに励んでいる。生徒たちの活躍を見る度に嬉しく思うとともに気高さを感ずる。校歌こそ変わったが、今でも谷村中学校時の伝統が、そして魂が脈々と継がれている。そのさえたるものは応援歌。この歌は谷村中学校生も歌つてきたこと。(谷中健児が一中健児となつていること)

ああ青春の夢あらば 来たりて励め我が友よ
将来背にし努むとき 栄えある路の力かな
ふるえ くるえ 一中健児
緑葉美しき老松に 忍苦の月はありと聞く
颯爽ここに立ち向かう
聞け伝統の谷村の名
ふるえ くるえ 一中健児
高き叡智をもつ我に 勝敗何ぞ問うべきや
悔いなきプレー示しつ
友よ続けよ健斗を
ふるえ くるえ 一中健児

これから先、少子化がますます進み、生徒数は年々減少していく。そうなる、様々な教育活動

は余儀なく制限される。そうならないように、先生方とふるさとである住吉都留の地を愛し、住吉・都留から学ぶ生徒の育成に邁進していきたい。いや、邁進しなればならない。卒業生や今の一中生、そしてこれから一中生になる児童が校歌や応援歌を歌い継ぐためにも。



校訓

70周年記念行事 教育講演会

教養委員会 福本 絵梨

私達教養委員会では、10月21日の土曜参観の後、本校体育館にて教育講演会を行いました。山梨日立建機会長の雨宮清さんにお越し頂き、『地雷のない平和な大地を』と題して、社会貢献のあり方や、平和な社会について講演して頂きました。本校70周年記念行事という事もあり、これから支えていく生徒たちにとつても、また、保護者にとつてもとても貴重な会になったかと思えます。聞きとり易いお話とスライドを交えたお話であつたと言つても過言ではないかもしれません。雨宮さんは地雷除去をする為の機械を開発し、全世界へと広めています。また、自分の行つて来た事を、全国各地で講演しているそうです。その様な貴重なお話を直接ご本人から伺う事ができ、私自身、とても考えさせられることが多くありました。これからの社会で生きていく子供たちにとつても、大切な時間であつたと思えます。



モノづくりを通しての国際貢献

地雷除去に挑む 皇から平和な大地への復興

この会を開催するにあたっては、先生方にご協力を頂き、ありがとうございました。ご参加頂いた保護者の皆様、教養委員会の役員の皆様、ありがとうございました。

都留市義務振興集會

PTA会長 遠山廣明

毎年行われる都留義務振興集會が「心身ともに健全で人間性豊かな子どもを育成を目指して」というテーマのもと、今年も行われました。学校から都留市に対して、施設や通学路・その他学校環境をより良くするための要望を出し合い、共通認識をもつて、市に対して陳情を行いました。

あわせて、普段保護者の方が感じている悩みや疑問・本集会で話題提起されたことについて、教職員のアドバイスを交えながら同じ保護者同士で共有し、ほかの保護者の考え方を知る機会となつていきます。

陳情については市の予算のことなので、お願いしたことがすぐに実現できるかどうかは難しいところです。しかし児童生徒の保護者として、児童生徒の安全確保・より良い学習環境の確保を目指し、市へ要望・陳情を続けていく必要があります。

各学校の陳情内容発表のあと、話題提起とディスカッションが行われました。話題提起は「都留市の子どもたちの学力の現状」というテーマで行い、SNSの使用時間と学力の関係やルールのことなど、データを示しながら、わかりやすく説明していただきました。ディスカッションの時間は、保護者の皆様が子どもの勉強時間やスマートフォンへの対応について、お互い意見を交換し合いました。

今回参加ができなかった保護者の方は次回参加をしてみてくださいます。ほかの保護者の話を聞くだけでも参考になりますし、有意義な時間となることでしょう。



